

# 小網代の森を抜けて奥座敷諸磯へ

日時:2016年7月18日(月・祭)

集合:京急三崎口駅改札 9時45分 10時出発

コース:三崎口駅→小網代の森→シーボニアマリーナ→油壺ヨットハーバー→諸磯湾→浜諸磯→諸磯隆起海岸(国指定天然記念物)→天神町バス停→バスで三崎口駅&三浦海岸駅

参加者:吉越(L) 小島(SL) 中嶋(SL) 班長=鈴木淳 奴田 平野 清水靖 加納喜

勅使河原 平嶋 常盤 神谷 戸田 平石一 熊坂 高橋文 小野里 青松秀 奈良 伊藤真 熊島 佐藤繁 藤原 深瀬 中村年 小林 河野 宮野 栗田 山川 市村 中村ゆ 平林勝 志村 小島ま 塩川 橋本 桑名 武倉 高塚 賀上 青松美 奥村 山田 中林 市川夏 高山 計47名

♪海は広いな大きいな～♪ 今日海の日、子供達が待ち望む夏休み目前、海水浴シーズン到来です！山もいいものですが、40年もの間、荒れた海をもともせず、船やボートで海釣りに出ていた身には、海はただ眺めているだけで十分満足です。でも本当は全くの“金槌”で、恥ずかしながら水が怖くて泳ぐことが出来ません！（海のボート漕ぎなら自信あります）

朝の三崎口駅には47名が参集、本日は地元の中嶋さんが初のSLデビューの日となりました！一昨日の予報では曇り空で朝夕は小雨もとのことでしたが、蓋を開ければ何と真夏の青空が広がっていました。全員すでに“覚悟”は出来ているようで、暑さ対策を整えて出発です。今回のメインスポットの諸磯周辺は、磯釣りではちょっと知られた場所で、家族連れにも安心して磯遊びが出来る所です。ここまで来ると流石に水も綺麗で、岩場では色とりどりのテントが張られ、若者達が三連休の最後を楽しんでいましたが、彼らの目にはその横を通る我々シニア集団がさぞ奇異に感じられたことでしょう。幸いにもこの暑さにダウンする人もなく、大汗をかきながらも最後まで完歩出来たのは、KWCの底力と言えるのではないのでしょうか。

<フォトレポート 小島重>



<浜諸磯の燈台前にて。暑いなか並んでもらいましたが、燈台の頭が入りきれませんでした！>



朝の三崎口駅。連休なので行楽客で賑わっていました。



いつもながらの風景です。あちこちで話の輪が・・・



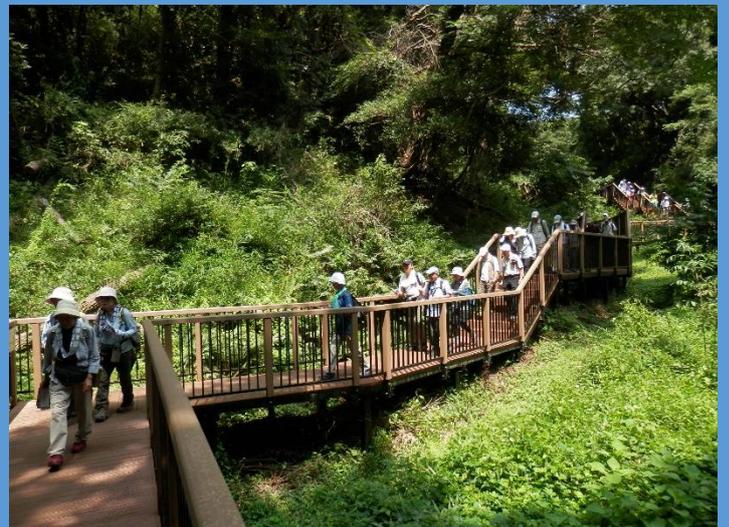
小網代の森に入ります。緑が多く涼しい！



吉越しより中嶋SLの紹介。“三浦組”誕生か？



改めて本日のコース説明と注意事項の確認です。



小網代の森を“独占”する47名のKWC軍団。

※小網代の森は、三浦半島の先端にある、相模湾に面した約70haの森です。

森の中央にある谷に沿って流れる「浦の川」の集水域として、森林、湿地、干潟及び海までが連続して残されている、関東地方で唯一の自然環境と言われています。

森、川、海のつながりが必要なアカテガニをはじめとして、希少種を含む多くの生き物たちが、多様な生態系を形成しています。森の中心にある散策路を通して、森林から干潟へと続く自然の移り変わりが楽しめます。

(県のHPより抜粋)



<リーダー主役(?)のアリバイショット。後方の皆さん、顔が写らず済みませんでした！>



倒れ掛けた幹から枝が伸びる珍しい木。



木陰から出ると厳しい日差しが・・・



やなぎテラスで水分補給。



木陰は早い者勝ち！



現在地確認。正しい休憩の仕方？



都会ではあまり見られなくなったシオカラトンボ。



暑いのでガマの穂が棒アイスに見えてきます！



えのきテラスは一旦スルーして向かうのは・・・



河口干潟です。皆さん何を見ているの？



あちこちに何やら蠢くものがありますが・・・



チゴガニがメスを呼ぶ求愛ダンスでした！





えのきテラスでし差し入れのスイカを頂きました・・・



が、食べることに集中しスイカの写真が〜〜ない！



この河口、大潮の満潮時には海水で満たされます。



スイカパワーで上りも楽勝！（先頭の方は特別です）



白髭神社で手を洗う？（スイカの甘味が手に）



アカテガニには会えなかったので看板で。



シーボニア前でトイレ休憩。



椅子を見つけるのが得意なお二人！



シーボニアを後に、ここから上り坂となります。



油壺湾に浮かぶヨット群を眺めながら・・・



諸磯湾に出ました。暑さもピーク、お弁当も待ちくたびれています！ランチまだ～～？



弁当はそう簡単には・・・幾多の試練が・・・待ち構えていました！足元怖い。



難所を無事に抜けて、やっとランチ場所に到着です。



波が打ち寄せる浜辺でお弁当を開きます。旨し！



崖下の日陰に入れて、これで安心して食べられる？



海を眺めながら食べると食欲倍増(?)かも。

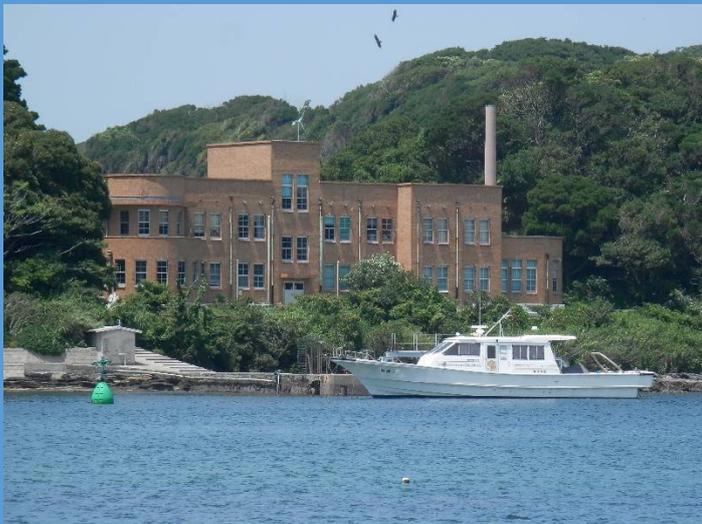




右の写真とポーズは似ていますが・・・全く色気なし！  
お高い靴の中の砂を洗っているところ。



ドキッ！手は震えてもピントはバッチリ！  
でも単なる“夏の風景”ですから誤解なきように・・・



目の前に見えるのは東大臨海実験所。



食後は腹ごなしの上りが・・・狭い崖道は滑りやすく。



上ったら下りる。これKWCの常識！



浜諸磯に出ました。一面のテント村？





数少ない貴重なトイレ。暫し木陰で休憩します。



もういい加減にして、この暑さ！そうは言ってもねえ。



またまたこの急坂。もう足が〜〜



まあ皆さんに付いて行けば何とかなるものです！



丘に出るとヒマワリ畑がありました。暑！



これで風が通れば快適なウォークですが。



咲いている花も暑さを助長して。



民家の玄関先ではテングサ干しも。



庚申塚に食い付きそうな人が！



最後の下りで足も棒状態。あと少しですよ。



最終ポイントの諸磯隆起海岸に到着。



これが隆起した海岸です。ただ説明版がありません。



穿孔貝があげた穴。かつてここが海だった証拠です。



ここで締め挨拶。皆さんお疲れ様でした！



天神町バス停で三崎駅&三浦海岸駅行を待ちます。

※陽射しが強く風も弱い典型的な夏の日でした。皆さんも水分を十二分に用意してきたことと思いますが、飲む後から汗になってしまい、自分自身がまるで熱源になったようです。でも小網代の森の緑と、チゴガニと、海辺でのランチにと、皆さん海の日ウォークを楽しむことが出来たのでは。地球にとって海は生命誕生の源とも云われていますが、人間が青い海を眺めて日頃のストレスを忘れるのも、大自然の摂理に叶ったことかも知れません。春夏秋冬、母なる海はいつ来ても我々を優しく迎えてくれることでしょう。♪海は広いな大きいな 月のはのぼるし 陽がしずむ〜♪ でしたか？